

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 5年 2月 ●日

事業所名： おひさまCLUB

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・学習室、保育室に分けている ・活動内容によってグループ分けをしている	・園庭が広く、前には公園もあり、とてもいい環境だと思います	・学習室、保育室、図書室に分ける ・利用時の人数や活動内容によって、チーム分けをする
	2 職員の適切な配置	・職員数は満たしている	・見学もしてみたい ・モニタリングの時に普段過ごしているお部屋をじっくり見せて頂く機会があればいいですね	・保護者様には定期的開催している参観日にて確認して頂ける
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・バリアフリーではないが、出来るだけ段差をなくすようにしている ・写真や絵カードを使用している 場所によって必要な声掛けを行い、利用児が自分で安全に行動できるようにしている	(ご意見なし)	・バリアフリーではないが、段差を減らす ・利用児が自分で安全に行動できるよう環境を整える
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・液体類が気になる子どもの利用日は目の届かないところへ置いている ・清掃、消毒、換気を行っている	(ご意見なし)	・液体、食品などが気になる子どもの利用日には、必ず目につかない場所へ移動させる ・今後も清掃、消毒、換気を徹底する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・日々の打ち合わせ、反省を行い次へ繋がるようにしている		・日々の打ち合わせ、振り返りや反省を行い、次に繋がるようにする
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・他事業所の職員と合同カンファレンスを行い、意見交換をしている		・他事業所の職員と合同カンファレンスを行い意見交換し、別の目線での支援の仕方を得る機会とする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・研修への参加をしている		・研修に参加し職員の向上に努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・カンファレンスを行い課題を挙げている ・保護者様のニーズを反映できるように心掛けている (モニタリングで得た内容を組み込んでいる)	(ご意見なし)	・活動時に行動観察を行う ・カンファレンスを行い課題を挙げる ・保護者様のニーズを反映できるようモニタリングで得た内容を組み込む
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの状況に応じて計画を立てている		・今後も子どもの状況に応じて計画を立てていく
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・分かりやすいように具体的に記載するようにしている	(ご意見なし)	・活動時の具体的な例などを計画に記載していく
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・職員間で共有できるように心がけている ・支援計画を更新した際は、職員間で周知している	(ご意見なし)	・職員間で共有し、支援の方法を統一するように心掛ける ・今後も支援計画更新時には、職員間で周知していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・活動内容について意見を出している		・常勤、パートスタッフなど立場を問わず、意見を出し合う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・活動内容を変えている ・できるだけ身体を動かし、発散できるようにしている	(ご意見なし)	・活動内容を変えて支援する ・体力づくりやミュージック・ケアなどを継続的に取り入れる (10分程度の短い時間)
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・年間計画を作成、利用児の状況によって変更している ・前年度の活動を踏まえ、新しい活動内容を考えている		・年間計画を作成するが、利用児の状況によって変更していく ・前年度の活動を踏まえて、新しい活動内容を考え取り入れていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・日案を確認しながら打ち合わせをしている		・日案に個別に行う支援内容とその担当スタッフを記入し、スタッフ間で周知して必要に応じてフォロー出来るようにする
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・日々の反省を行い、職員間で話をしている ・職員共有ノートを使用している		・毎日保育後に反省会を行い、改善点を出し合う ・職員共有ノートに連絡事項を書き、伝え漏れのないようにする	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・反省で出た内容を記録し次へ繋がるようにしていく		・色ペンで実際行った活動や支援を書き加えることで、時間配分や支援方法などの見直しにつなげる
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画書を作成、見直しを行い、その際に保護者様との面談を持ち、現状の報告をして保護者様のニーズを再確認している ・定期的に会議を持ち、計画書の見直しをし適切な支援の提供をしている		・定期的にカンファレンスを実施し、適切な支援を提供していく
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担当者や児童発達支援管理責任者が会議へ積極的に参加している		・担当者会議には必ず参加していく
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・送迎時に話をしている		・送迎時に可能な限り聞き取りをしていく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・機会があれば情報提供する		・必要に応じて情報提供をする
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修への参加をしている		・スキルアップの為に研修には今後も積極的に参加する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供は行っていない</li> <li>・近隣の公園へ行った際に地域の子ども達と遊ぶことがある</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供は行っていない</li> <li>・近隣の公園へ行った際に地域の子ども達と遊び触れ合えるようにしたい</li> </ul>
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を招待できていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の招待は今のところ考えていない</li> </ul>
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学时、契約時に説明を行っている</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談日を設け、わかりやすい説明を心掛ける</li> <li>・早めに予定を伺い、都合がつかない場合は電話をかけたり送迎の際に説明する</li> </ul>
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談日を設け、分かりやすい説明を心がけている</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学时、契約時に丁寧に説明を行う</li> </ul>
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てについての座談会や講演会等をお知らせしたり、おたよりに必要な記事を載せている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうせ我が子のニーズにフィットしないし…と諦めモードです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、保護者対象の勉強会等について発信をして実施していく</li> </ul>
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、面談時に話をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回送迎の時にその日の様子を教えてくれるのでどのように過ごしていたかが良く分かります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も送迎時や面談時に話をまめにするようにしていく</li> </ul>
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事は随時聞くようにしている</li> <li>・すぐに答えが出ないときには話を預かり後日話しをしている</li> <li>・場合により面談も行っている</li> </ul>	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事は早急に時間を取り、しっかりと話を聞き助言を心掛ける</li> </ul>
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てについての座談会を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会、そのものはあるみたいですが、我が子の課題にフィットしない</li> <li>・場違いな感じになるので、いってもモヤモヤするだけです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てについての座談会を行う</li> <li>・参観日に保護者同士の茶話会を実施する(感染対策を行った上での実施)</li> </ul>
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な対応をとるように心がけている</li> <li>・改善点を確認、スタッフ間で周知する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情を出したことがないのでわからなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりお話を聞き適切な対応を取るよう心がける</li> <li>・改善点を確認、スタッフ間で周知する</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳の記入 ・送迎時に伝える ・必要に応じて面談の場を設ける	(ご意見なし)	・今まで通り連絡帳に記入する ・送迎時に伝え、必要に応じて面談の場を設ける
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月のお便り ・ホームページ掲載	・CLUBだより毎月楽しみにしています ・写真付きなので活動内容が良く分かります	・毎月のお便りやホームページに掲載する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報が記載されているものや写真がのっているものを捨てる時にはシュレッダーにかけている	・ご配慮いただきありがとうございます	・今までと同様、個人情報が記載されているものや子どもの写真が載っているものは必ずシュレッダーにかけて破棄する
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・個別支援計画に記載している	(ご意見なし)	・個別支援計画に記載する ・職員へもマニュアルを周知している
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・学期ごとに1回実施	(ご意見なし)	・学期ごとに1回実施する ・実際の災害時を想定した動きも取り入れる(例:子どもを抱えて逃げる、窓から出るなど)
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・研修への参加、職員間での情報共有		・研修への参加や職員間での情報共有を行う
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束をしないといけない子どもはいません		・身体拘束をしないといけない子どもはいません ・必要に応じて保護者様と適切な対応を話し合い、確認をする
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・面談の際に食物アレルギー等が発生していないか小さな変化も聞き取る		・面談の際に食物アレルギーが発生していないか、必ず確認する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・事故等を起こした際には書面報告、全体会議等で情報を共有する		・今までと同様、事故等を起こした際には書面報告、全体会議等で情報を共有する